


ふりがな 氏名	さいとう みさき 齊藤 美咲	都道府県	山形県	
所属/肩書	東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニティデザイン学科			
私のESD活動	高校生が地域と関わりながら成長する SCH（スーパーコミュニティハイスクール）を増やすための支援活動			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私が通う東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニティデザイン学科は、2014年に設立した新しい学科で、コミュニティデザインという言葉が世の中に広めた studio-L の山崎亮さんが学科長をしています。専任の他の先生方も studio-L のスタッフであり、コミュニティデザインの現場で実際に活動している方々のもと学んでいます。

今年の2月にコミュニティデザイン学科が主催で行った「第2回 SCH(スーパーコミュニティハイスクールの略)シンポジウム」の学生スタッフをしました。5人の学生が、高校生のアクティブラーニングに精通している岐阜県可児高校の浦崎太郎先生と静岡県富士市立高校の眺野大輔先生、スーパー公務員である山形市役所の後藤好邦さんにヒアリングを行ったり、地方創生全国コンファレンスに参加してアイデアをいただきながら2日間のプログラムを検討しました。

高校教諭、行政マン、民間 NPO、そして高校生など、様々なセクターが全国各地から山形に集合。「高校生を地域活動に！」がテーマの今回は、地域の元気と高校生の未来をつくるために何ができるかを話し合いました。高校生と地域が連携している先進事例の発表やワークショップを行い、都道府県別のチームに分かれ未来へのアクションを考えました。私がファシリテーターを務めた東京チームは、このカンファレンスをきっかけに、『杉並発ハイパー高校生マネジメントプロジェクト』というプロジェクトが始まっています。

このカンファレンスを通して、私自身様々なセクターの人と意見交換をすることで、高校生のアクティブラーニングの重要性を感じました。そのため、4月から大学で「SCH 東北」というチュートリアルを立ち上げ、活動を続けています。

○「第2回 SCH シンポジウム Facebook」 https://www.facebook.com/events/456613494549551/?active_tab=highlights

○「SCH ネットワーク Facebook」 <https://www.facebook.com/sch.network.sch/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？

■今後の活動の展開・・・ESD 活動を題材とした卒業研究をしたいと考えています。学校教育以外にも、地域教育(社会教育)、生涯学習などまちづくりにおける教育分野は幅広いです。自分がどの分野を研究対象にするかはまだ決まっていますが、ESD 日本ユースコンファレンスを参考に、また、「SCH 東北」の活動を深堀する形で研究をしていきたいと考えています。

■ESD 全体の発展にどう貢献したいか？・・・コミュニティデザインは ESD を実現する上で、カギとなる分野だと思っています。コミュニティデザインとは「人がつながる仕組みをデザインすること」です。地域にある課題を地域の人たち自身が発見し、それを自分たちの手で解決していけるようサポートするのがコミュニティデザイナーの仕事です。地域の人たちが自分たちで課題を見つけるのは意外と難しいことで、仮に問題を発見できたとしても、その事例や解決方法がわからず悩んでいるという地域は数多くあります。地域だけでなく、学校教育の現場も、同じようにアクティブラーニングの手法がわからず悩んでいます。持続可能な改善・解決を目指すためには困っている人たちに直接的な助け舟を出すのではなく、困っている人たち本人が自ら課題を解決することが重要です。その本人のサポートができるコミュニティデザイナーになり、しゅみをデザインすることで ESD の発展に貢献したいです。